

Title	地域経済研究会会則, 投稿規定, 表紙, 編集者のひとり言
Author(s)	
Citation	資本と地域 (2007), 4
Issue Date	2007-10
URL	http://hdl.handle.net/2433/66159
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

地域経済研究会の会則及び概要

地域経済研究会会則

第1条 (名称)

本会は、地域経済研究会と称する。

第2条 (目的)

本会は、地域経済に関する研究及びその普及、並びにこれらの研究者の連絡協同を目的とする。

第3条 (事業内容)

本会は、研究会の開催、会誌及び書籍の刊行、その他本会の目的を達成するに適当な諸事業を行う。

第4条 (会員)

本会の目的に賛同して会員となるには、本会に申込み、事務局の承認を受けることを要する。会員は、年会費 1,000 円を納めることとする。

第5条 (代表者)

会員によって互選されたものが代表者となり、会務を執行する。

第6条 (事務局)

代表者のもとに事務局及び会計担当者をおき、日常の業務を執行する。

第7条 (事務所)

本会の事務所は、京都市左京区吉田本町京都大学経済学研究科の岡田知弘研究室に置く。

第8条 (設立年月日)

本会は、1996年5月11日に設立する。

地域経済研究会の概要

【概要】

本研究会は、地域経済の理論、歴史、現状に関心のもつ研究者、大学院生、社会人が、隔月で開いている研究会である。

【会の略史】

1996年5月11日(土) 第1回研究会開催

2007年8月4日(土) 第63回研究会開催

【代表者】

岡田知弘(京都大学大学院経済学研究科教授)

【事務局・会計担当者】

大貝健二(京都大学大学院経済学研究科)

池島祥文(京都大学大学院経済学研究科)

【機関誌】

『資本と地域』(毎年10月発行)

【事務局連絡先】

〒606-8501

京都市左京区吉田本町

京都大学大学院経済学研究科 岡田知弘研究室

Tel/Fax : 075-753-3462 (研究室直通)

E-mail : okada@econ.kyoto-u.ac.jp

投稿規程と執筆要項

投稿規程

1. 本誌は主として、地域経済研究会内外の会員による地域経済および関連諸分野の研究成果を掲載する。
2. 本誌は年刊として、毎年10月に発行する。
3. 本誌への投稿に際しては、以下の規定に従うこと。
 - (1) 本誌への投稿原稿は、地域経済および関連諸分野に限る。
 - (2) 他に審査中あるいは掲載予定となっているものは、本誌への投稿・発表を認めない。
 - (3) 投稿者は事務局宛に以下の全てをメールすること。
 - ・ 原稿のファイル
 - ・ 原稿の表題、投稿者の氏名・ふりがな、所属機関名と肩書等、連絡先[郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス]
4. 掲載の採否は編集委員が決定する。
5. 本誌掲載に際しての著者校正は1回(初校のみ)とする。
6. 原稿執筆の様式は執筆要項に従うこと。
7. 原稿およびその他の送付物はいずれも返却しない。
8. 投稿の宛先は、地域経済研究会事務局宛(okada@econ.kyoto-u.ac.jp)とする。

執筆要項

1. 論文Ⅰは図表を含めて30,000字程度とする。
2. 論文Ⅱは図表を含めて20,000字程度とする。

3. 書評は4,000字以内とする。
4. 原稿は、横書きで、句読点も含めて1桁1字(欧文および数字は1桁2字)で作成する。ワープロを使用する場合は、余白・行間を充分にとること。
5. 注は、引用注・説明注を区別せず、通し番号を付して一括して本文の末尾に記す。章あるいは節ごとに分割しない。なお、引用・参考文献の表示方法については、WEBサイト(<http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/~okada/>)において、引用文献の表示方法の標準的なスタイルを示しているので参照されたい。
6. 人名など特殊な場合以外は、なるべく常用漢字・新かなづかいを用いる。なお、資(史)料を引用する場合は、かなづかいはそのままとし、旧字(正字)の部分を通用の書体(新字)に直す。たとえば「圓」は「円」、「鐵」は鉄。
7. 単位の表記については、スペースを節約するため、できるだけ%、kgなどの略字を用いる。数字の表記については、原則としてアラビア数字を使用する。桁数の多い数字の場合は、「5億6,524万円」のように適宜単位を補ってもよい。
8. 謝辞は掲載できない。

資本と地域

第4号

巻頭言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・尾崎芳治

地域経済研究会シンポジウム

「地域経済学研究における空間認識と理論形成」

景観変遷と消費分析にみる都市形成史・・・・・・・・・・水島和哉(1)

産業分析の地域経済学的アプローチ—地域マスメディアをめぐる空間編成—

・・・・・・・・・・・・・・・・・・三輪仁(7)

企業都市形成と生活空間—歴史と空間の分析をもとに—・・・・・・宇都宮千穂(17)

都市—農村間関係の再検討—等質性と空間形成—・・・・・・池島祥文(27)

総合討論・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(37)

地域経済の現場から

経済報道のバイアス・・・・・・・・・・・・・・・・・・高田茂弘(48)

書評

シャロン・ビーダー『電力自由化という壮大な詐欺：誰が規制緩和を望んだか』高橋健次(訳)、草思社、2006年(Sharon Beder, *Power Play: The Fight to Control the World's Electricity*, The New Press, 2003)・・・・・・・・・・名和洋人(50)

書を持って街に出よう

甘木・朝倉「まちの駅」を訪ねて・・・・・・・・・・手嶋隆行(52)

今をとらえる・・・・・・・・・・・・・・・・・・徳永昌弘(54)

学会参加記・・・・・・・・・・・・・・・・・・森原康仁・池島祥文・倪卉(55)

研究の周辺・・・・・・・・・・・・・・・・・・大貝健二(61)

研究活動報告Ⅰ・・・・・・・・・・・・・・・・・・(60)

研究活動報告Ⅱ・・・・・・・・・・・・・・・・・・(62)

会員紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・(63)

地域経済研究会会則、投稿規定

地 域 経 済 研 究 会

編集者のひとり言

紀要の発行が大幅に遅れ申し訳ございませんでした。諸般の事情により、年越ししてしまい、さらには年度越しまでに至ってしまうところでした。編集委員の責任です。ただし、今号はシンポジウムと連動して特集記事が掲載されています。これは新たな試みといえ、積極的にチャレンジした成果です。内容に関しては、時間的制約の中で不十分な部分も多々ありますが、その課題は次回以降に活用していきたいと思います。執筆者の皆様、ならびに会員の皆様、ご迷惑をおかけしましたことをご容赦ください。（池島祥文）

気がつけば1年が過ぎました。確かに感覚では「あっという間」という表現が適切ですが、振り返ってみれば、気付かないうちに身の回りも随分と変化していました。1日1日の中では分からない変化が、365日経つとはっきりわかる、面白いものです。今号では、新たな挑戦を取り入れてみました。不十分な点はあると思いますが、これも「資本と地域」にとっての着実な変化（この場合は成長）であると信じています。執筆者の皆様、会員の皆様には、多大なる御迷惑をおかけして心苦しい限りです。今回の発行の遅れは、編集委員の責任、さらには編集委員長である私の責任です。ただ、言い訳がましいですが、次号以降の「資本と地域」の変化の方向性は示すことが出来たのではないかと思います。この発行がずれ込んだ時間を「熟成」期間と理解していただければ幸いです。

徐々に編集体制が変わりつつありますが、次号は皆様に極力御迷惑をおかけしないように陣頭指揮をとっていきたいと思います。（大貝健二）

新しい試みを実施したことにより、発刊時期がずれ込んでしまいましたが、本年度中に発刊できたこと、非常にうれしく思っています。この場を借りまして、編集作業をはじめプロジェクトに協力して下さったすべての人に厚く御礼申し上げます。

現在世界は、新興国の台頭、サブプライム問題などにより従来までのパワーバランスが変化の兆しを見せている転換点を迎えております。世界経済・政治の様相が変化すれば、そこに包摂されている国あるいは地域も否応なく、その渦の中に巻き込まれることになります。その中で、若者が力を結集してひとつの事業を成し遂げることは、世界全体から見てどのように小さいものであろうとも、今後世界を変える能力を身に付ける意味においても非常に大きな意義があると信じております。（小山大介）

まずは執筆者の皆様、そしてご支援、ご協力いただいた方々に心より感謝いたします。

シンポジウムという新しい企画のため長い時間がかかりましたが、こうして第4号の発刊を迎えることができて非常に嬉しく思うと同時に「3号雑誌」の誇りを受けずに済むことに胸を撫で下ろしております。これも大貝くんと池島くんの粘り強さと強いリーダーシップの賜物です。経済合理性だけに流されず、人間本位の関係に立脚した雑誌作りを通して完成した本誌が作り手・読み手の双方にとって益のあるものになっていれどと願っております。（三重遷一）

第4号をお届けします。本号から編集体制が一新されました。そのため、私は編集実務にはほとんど関わりませんでしたが、シンポジウムに参加させていただくなど、新鮮な経験をすることができました。雑誌立ち上げ当初には、今回のような特集を組んで内容を作ることなど、予想すらできませんでした。編集実務担当者のやる気と能力には頭が下がります。院生発信の雑誌ではありますが、地域経済研究の発展に寄与できればと、みな本気で作っています。今後とも、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。（宇都宮千穂）

資本と地域 第4号

2007年10月発行

発行人	岡田知弘
発行所	地域経済研究会
連絡先	〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院経済学研究科 岡田知弘研究室 Tel/Fax : 075-753-3462（研究室直通） E-mail : okada@econ.kyoto-u.ac.jp 口座番号 : 00940-1-167133
印刷所	（株）田中プリント 〒600-8047 京都市下京区松原通麩屋町東入 Tel 075-343-0006